



例題と解説

例題 1

次の数をそれぞれ漢数字で書きなさい。

- (1) 826941754
(2) 10070901

答え (1) 八億二千六百九十四万七千七百五十四 (2) 千七万九百一

[例題 1 の解説]

千万の次の位は一億の位です。

100×100 は 10000 (一万) です。一万はゼロが4個です。

10000×10000 は 100000000 (一億) です。一億はゼロが8個です。

4	9	3	1	2	6	1	9	4	5
↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
十億の位	一億の位	千万の位	百万の位	十万の位	一万の位	千の位	百の位	十の位	一の位

$$100 \times 100 = 10000 \text{ (一万)}$$

$$10000 \times 10000 = 100000000 \text{ (一億)}$$

- (1) 826941754 → 八億二千六百九十四万七千七百五十四
(2) 10070901 → 千七万九百一



例題と解説

例題2

次の□にあてはまる等号や不等号をそれぞれ答えなさい。

- (1) $320\text{万} + 70\text{万}$ □ $450\text{万} - 70\text{万}$
(2) $28500000 \div 100$ □ 28500×100
(3) $5200\text{万} + 400\text{万}$ □ $6000\text{万} - 400\text{万}$

答え (1) > (2) < (3) =

[例題2の解説]

数が等しいときは等号「=」、数の大きさが等しくないときは不等号「>」「<」を使います。

$7=7$, $15 > 12$, $8 < 11$

- (1) $320\text{万} + 70\text{万} = 390\text{万}$
 $450\text{万} - 70\text{万} = 380\text{万}$
よって $320\text{万} + 70\text{万} > 450\text{万} - 70\text{万}$
- (2) $28500000 \div 100 = 285000$
 $28500 \times 100 = 2850000$
よって $28500000 \div 100 < 28500 \times 100$
- (3) $5200\text{万} + 400\text{万} = 5600\text{万}$
 $6000\text{万} - 400\text{万} = 5600\text{万}$
よって $5200\text{万} + 400\text{万} = 6000\text{万} - 400\text{万}$



例題と解説

例題3

次の□にあてはまる数をそれぞれ求めなさい。

$$(1) \quad 1937 = 1000 \times \boxed{\text{ア}} + 100 \times \boxed{\text{イ}} + 10 \times \boxed{\text{ウ}} + 1 \times \boxed{\text{エ}}$$

$$(2) \quad 8295 = 100 \times \square + 95$$

$$(3) \quad 23251 = 10 \times \square + 20051$$

答え (1) ア=1, イ=9, ウ=3, エ=7 (2) 82 (3) 320

[例題3の解説]

$$\begin{aligned} (1) \quad 1937 &= 1000 + 900 + 30 + 7 \\ &= 1000 \times 1 + 100 \times 9 + 10 \times 3 + 1 \times 7 \\ \text{よって ア} &= 1、\text{イ} = 9、\text{ウ} = 3、\text{エ} = 7 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (2) \quad 8295 &= 8200 + 95 \\ &= 100 \times 82 + 95 \\ \text{よって } \square &= 82 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (3) \quad 23251 &= 3200 + 20051 \\ &= 10 \times 320 + 20051 \\ \text{よって } \square &= 320 \end{aligned}$$



例題と解説

例題4

0, 1, 2, 3, 4 の5つの数字を1回ずつ使って5けたの数を作ります。このとき次の問いに答えなさい。

- (1) 作ることのできるもっとも大きな数はいくつですか。
- (2) 作ることのできるもっとも小さな数はいくつですか。
- (3) 2万より大きくて2万にもっとも近い数はいくつですか。
- (4) 2万より小さくて2万にもっとも近い数はいくつですか。

答え (1) 43210 (2) 10234 (3) 20134 (4) 14320

[例題4の解説]

- (1) もっとも大きな数は 43210
- (2) ゼロを一番上の位に使うことはできません。
もっとも小さな数は 10234
- (3) 2万より大きくて2万にもっとも近い数は 20134
- (4) 2万より小さくて2万にもっとも近い数は 14320



例題と解説

例題 5

0, 1, 2, 3, 4, 5 の数字が書かれたカードがそれぞれ2枚ずつ、全部で12枚あります。

このうち何枚かをを使って数を作ります。作ることのできる数の中で8億にもっとも近い数はいくつですか。

答え 1001223344

[例題 5 の解説]

8億 (800000000) よりも小さくて8億にもっとも近い数は 554433221 (5億5443万3221)

8億との差は $800000000 - 554433221 = 245566779$

8億 (800000000) よりも大きくて8億にもっとも近い数は 1001223344 (10億122万3344)

8億との差は $1001223344 - 800000000 = 201223344$ ← こちらの方が差が小さい

よって、8億に近いのは 1001223344

ある数にもっとも近い数を調べるときは、

ある数より小さくてもっとも近い数とある数より大きくてもっとも近い数をくらべましょう。

ポイントまとめ

- 千万の次の位^{せんまん}は一億^{いちおく}の位^{くらい}です。
- 100×100 は 10000 (一万) です。一万はゼロが4個です。
- 10000×10000 は 100000000 (一億) です。一億はゼロが8個です。
- 数が等しいときは等号^{ひと}、数の大きさが等しくないときは不等号^{ふとうごう}を使います。
- $5947 = 5000 + 900 + 40 + 7 = 1000 \times 5 + 100 \times 9 + 10 \times 4 + 1 \times 7$
- ある数にもっとも近い数を調べるときは、ある数より小さくてもっとも近い数とある数より大きくてもっとも近い数をくらべましょう。